

AREC・Fiiプラザ 第154回リレー講演会

プレス加工・金型・切削・メッキ

■日時：平成26年3月20日（木） 15:00～18:00 ※終了後、交流会開催

■場所：AREC [上田市産学官連携支援施設] 4階

(上田市常田3-15-1 信州大学繊維学部内 Tel:0268-21-4377)

講演1

15:00～16:00

演題 『中小“モノづくり企業”の海外展開とは何か？』

講師：日本工業大学教授 NPO 法人アジア金型フォーラム副理事長
(社)日本金型工業会 学術顧問 国際委員、アジア金型協議会(FADMA)名誉会長等々
多くの団体の委員等並びに企業役員・顧問 横田 悦二郎 氏

概要 グローバル経済の進展により、今日本の“モノづくり中小企業”は「思い切って海外展開するか？」若しくは「自社の強みを生かして国内に踏みとどまるか？」の選択を迫られている。然しながら、本当にその道しか無いのであろうか
本講演では中小企業、特に地方の中小零細企業が単に生き残るのではなく“より繁栄する”ためにはどうしたら良いかについて現状の課題を整理しその解決策を幾つかの実例を挙げて説明する。

講演2

16:00～17:00

演題 『新しい粉末冶金法を利用した機能性材料の開発』

講師：信州大学工学部（機械システム工学科）准教授 中山 昇 氏

概要 粉末冶金とは金属粉末を固化成形する方法である。母材となる金属と機能性を持った分散材を混合し固化させることで新しい機能性材料を開発することができる。ここでは、粉末冶金の基礎と近年開発された「常温圧縮せん断法」を用いた機能性材料の開発事例を紹介する。

休憩

講演3

17:00～18:00

演題 『モノづくりの基礎となる「型」の新たな取り組み』

講師：吉田工業株式会社 事業開発グループ マーケティングリーダー 遠山 大介 氏

概要 吉田工業株式会社のこれまでの歩みと事業展開、及び新たな開発テーマとして取り組んでいる
①少量多品種での金型の採用、②複雑形状品への取り組み（一部金型の摩耗進捗管理を含む）、
③3Dプリンタを用いた型（砂型）の造形技術とその活用、などについてご紹介致します。

主催：AREC・Fiiプラザ／一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター 共催：公益財団法人長野県テクノ財団 浅間テクノポリス地域センター

●お申込先 AREC・Fiiプラザ事務局 宛

メール (mousikomi@arecplaza.jp) またはファックス (0268-21-4382) でお申し込みください。

AREC・Fiiプラザ 第154回リレー講演会 参加申込書

(平成26年3月20日)

企業・機関名			
参加者名			
所属・役職	電話番号		
メールアドレス	ファックス番号		

※ご記入いただいた個人情報(御社名、所属・役職、氏名)は受付名簿としてのみ使用し、他の用途には一切利用いたしません